

News Release

2026年2月5日



令和8(2026)年度中野区 当初予算案区長記者会見



中野区企画部 広聴・広報課 03-3228-8803



～「子育て環境の充実、健幸でにぎわう、人と人がつながるまち、住み続けたいなる中野」の予算～

令和8(2026)年度 中野区当初予算案の概要

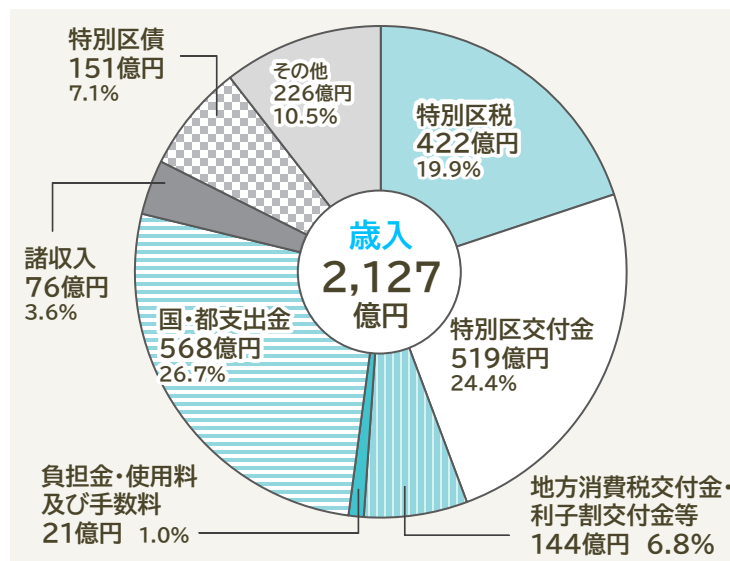
令和8(2026)年度中野区当初予算は、「子育て環境の充実、健幸でにぎわう、人と人がつながるまち、住み続けたいなる中野」の予算とするため、新しい基本計画や区有施設整備計画による政策及び施設整備、社会情勢の変化を踏まえた区民生活に寄り添う取り組みに重点をおいた予算編成としています。

一般会計は、**2,126億9,400万円**（前年度比**9.1%**増）。4つの特別会計を含めた5会計の合計は、**2,836億7,100万円**（前年度比**6.7%**増）となりました。

	令和8年度	令和7年度	差し引き	前年比
一 般 会 計	2,126億9,400万円	1,949億9,600万円	176億9,800万円	9.1%
用 地 特 別 会 計	4億9,500万円	11億5,000万円	▲6億5,500万円	▲57.0%
特別 会 計 国民健康保険事業特別会計	346億6,700万円	356億6,100万円	▲9億9,400万円	▲2.8%
後期高齢者医療特別会計	91億4,800万円	83億0,200万円	8億4,600万円	10.2%
介護保険特別会計	266億6,700万円	258億4,500万円	8億2,200万円	3.2%
合 計	2,836億7,100万円	2,659億5,400万円	177億1,700万円	6.7%

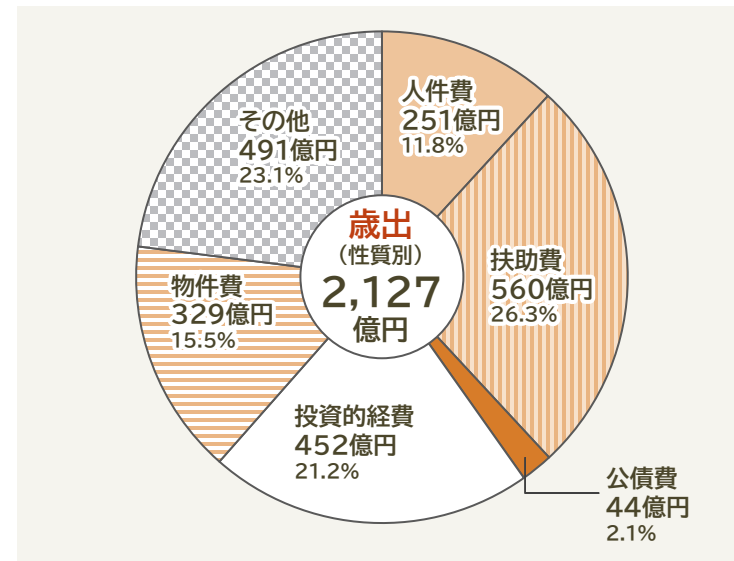
令和 8 (2026)年度予算案 一般会計の内訳

※金額等は表示単位未満で四捨五入しているため
合計などが一致しない場合があります。



歳入では、特別区税や特別区交付金について**増加**を見込んだほか、保育所等利用世帯負担軽減事業や中野四丁目新北口駅前地区都市再生土地地区画整理事業に係る補助等の**増**により、都支出金が**増**となりました。また、まちづくり基金繰入金の**増**に伴う繰入金が**増**、土地地区画整理事業補償金の**増**により、諸収入が**増**となりました。

一方で、中野駅周辺まちづくり関連の国庫支出金が**減**となったほか、区立保育園入園者自己負担金の**減**により、分担金及び負担金が**減**となりました。



歳出では、中野四丁目新北口駅前地区都市再生土地地区画整理事業補助、義務教育施設整備基金積立金、学校改築工事及び中野駅新北口駅前広場整備事業等が**増**となりました。

一方で、囲町東地区市街地再開発事業補助、文化施設改修工事及び上五こもれば公園整備等の投資的経費が**減**となったほか、学習用端末リプレイス関連経費、児童手当や公債費等が**減**となりました。

令和 8 (2026) 年度予算案の主な項目

令和 8 (2026) 年度予算の主な項目について、中野区基本構想で掲げる 4 つのまちの姿と区政運営等に関する取り組みの経費に分けてお示しします。

▼基本構想で掲げる 4 つのまちの姿

- | | |
|--|---------|
| 1. 人と人がつながり、
新たな活力が生み出されるまちへの取り組み | 5 ~ 13 |
| 2. 未来ある子どもの育ちを
地域全体で支えるまちへの取り組み | 14 ~ 30 |
| 3. 誰もが生涯を通じて安心して
自分らしく生きられるまちへの取り組み | 31 ~ 35 |
| 4. 安全・安心で住み続けたくなる
持続可能なまちへの取り組み | 36 ~ 42 |
| 5. 区政運営に関する取り組み | 43 |
| 6. その他の取り組み | 44 ~ 45 |

I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(1)

※資料中【】内のページは、別紙「令和8(2026)年度当初予算(案)の概要」の該当ページです。

小中高生アニメ体験事業の実施 (新規)

500万円【P18】

子どもたちの学外活動として、区内アニメ関連企業と連携した、子ども自身が企画に携った、アニメにまつわる体験機会をワークショップ形式で実施します。学校や家庭では得られない心身の成長を促すとともに、アニメ産業の地域資源としてのプロモーションを進めていきます。

▼事業スキーム

- ①区内アニメ事業者を中心にワークショップ案を検討
- ②区内在住の中高生からコアメンバーを公募
- ③アニメ事業者とコアメンバーで実施事業を検討・決定し、事業への参加者を公募、ワークショップを実施

※コアメンバーは1年で解散し、翌年度再募集



▲ワークショップイベントの様子

区内経済・産業を活性化

①伴走型中小企業経営支援体制の構築（推進） 1億4,896万5千円【P18】

産業振興センターを拠点とした中小企業経営支援

産業振興センターを中小企業支援の拠点と位置づけ、経営者同士のネットワーク形成を促進する場とするため、ハードとソフトの両面から機能強化します。

▼ハード面 中小企業者が相談しやすく、経営者が集しやすい空間づくりを目的とした改修

▼ソフト面 経営相談の拡充や、（仮称）中小企業支援員の任用による支援の充実

創業教育を通じた若者・子どもの体験事業

創業教育を行うことで、若年層に「起業」を身近に感じてもらい、区内の創業機運を高めていきます。

▼新たな取り組み

- ・高校生以下の子どもを対象に、トレーラーハウスを活用した製品の製造、販売等を通じた経営シミュレーションを実施



1 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(3)

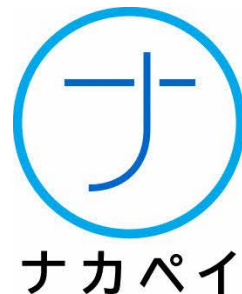
②デジタル地域通貨事業の拡充（拡充）

4億4,712万3千円【P18】

キャッシュレス決済アプリ（ナカペイ）の改修によりユーザビリティを向上させるとともに、プレミアムキャンペーンに加えて通常チャージに対するポイント還元を実施することで、区内の経済・産業を活性化を図ります。

▼ナカペイアプリケーションの改修

マイナンバーカード認証の導入により、セキュリティを向上させることで、クレジットカードで通常チャージができるように改修



▼プレミアムキャンペーン等による区内経済・産業の活性化

- ・ プレミアムキャンペーンの実施
プレミアム率：20%
- ・ キャンペーン以外でナカペイアプリの通常チャージに対するポイント還元
還元率：3%（予定）

1 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(4)

ナカペイを活用したコミュニティポイントの拡充 5,336万5千円【P47】

区内事業への参加等と連動したコミュニティポイントを発行することで、区民の行動変容を促し、心身の健康増進と地域コミュニティの活性化を目指します。

コミュニティポイントを発行する事業

- ▼集合住宅（アパート・マンション等）における防災啓発 **新規**【P15】
集合住宅で実施する防災訓練の実施者へ、訓練参加人数に応じて付与
- ▼自転車安全利用講習会 **新規**
講習会への参加に応じて付与
- ▼健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業
1日あたりの歩数や測定スポットでの体組成計による測定などに応じて付与
- ▼コミュニティポイントを活用した健診受診・事業参加勧奨事業 **新規**【P33】
区民健診をはじめとした健康づくりの取り組みへの参加に応じて付与



I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(5)

オンライン日本語教室事業の充実（拡充）

174万1千円【P18】

日本語入門者向けの教室に加え、少し話することができる方向けの教室を開催します。また、親子で参加できる子ども向けの日本語教室を、夏休み期間に試行実施します。

区民活動センターの情報収集・発信機能強化

（新規）

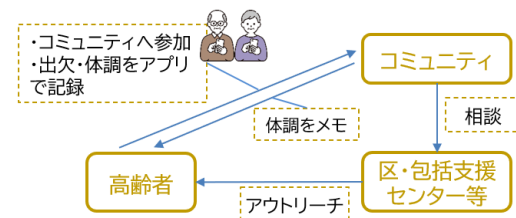
37万4千円【P29】

職員等の情報コンテンツ作成スキルを強化するとともに、試験的に一部のセンターへデジタルサイネージを設置することで、地域の情報発信力を強化します。

産学公連携によるデジタル技術を活用した地域課題解決への共同研究（拡充）

210万4千円【P30】

地域で活動する高齢者を対象としたコミュニティと区や地域包括支援センターをつなぎ、高齢者の生活異変を早期に発見するためのアプリケーションを、産学公の共同で研究・実証し、高齢者見守りの仕組みを構築していきます。



中野駅周辺各地区のまちづくりを推進

①中野駅周辺のまちづくり（推進）

181億4,844万3千円【P46】

●中野駅周辺まちづくりに関する業務支援

- ・中野駅周辺事業間調整
- ・中野駅周辺各地区のまちづくり検討
- ・中野駅周辺V Rデータの更新・修正
- ・中野サンプラザ施設管理
- ・都市・地域総合交通戦略改定業務

●都市再生土地地区画整理事業補助（中野二丁目地区）

- ・駅前広場整備工事、公園整備工事 等

●都市再生土地地区画整理事業補助（中野三丁目地区）

- ・桃園広場整備工事 等

●都市再生土地地区画整理事業補助等 （中野四丁目新北口駅前地区）

- ・旧区役所高層棟解体前払金、旧区役所高層棟補償費等

●市街地再開発事業補助等（囲町西地区）

- ・施設建築物本体工事費 等

●市街地再開発事業補助等（囲町東地区）

- ・道路整備費 等

●中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備

- ・本体工事
- ・中野駅西口広場・シェルター設置（西側南北通路部分）

●中野駅新北口駅前広場整備事業

- ・中野駅新北口歩行者通路整備

●中野駅周辺エリアマネジメント推進事業

- ・事業推進主体の設立支援委託
- ・エリアプラットフォームの事務局運営支援

I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(7)

① - I 中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備

中野駅西側南北通路及び橋上駅舎の整備を着実に進め、2026年12月に駅ビル、西口改札を含めて完成・開業を予定しています。ユニバーサルデザインに配慮しながら、誰もが安全で円滑に移動しやすい環境を整えるとともに、中野駅周辺の回遊性と公共交通機関の利便性を向上することで、まちのにぎわいの活性化を目指します。

▼中野駅橋上駅舎・駅ビル 外観



(出典元：J R 東日本)

▼中野駅橋上駅舎・駅ビル 南側



(出典元：J R 東日本)

▼中野駅西側南北通路



①-2 中野駅周辺各地区のまちづくり検討

中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画の見直し

基本協定の解除以降、様々な機会を通じて区民の皆さんや関係団体から多くのご意見をいただきました。ご意見やサウンディング型市場調査の結果を経て、中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画の見直しの考え方をまとめました。

今後、各種調査や専門家等を交えた専門的見地からの検討を行い、区民の皆さまや区議会への情報提供や意見交換をさらに深め、再整備事業計画の改定に向けた検討を進めていきます。

▼今後の予定

2026年	2月	区民と区長のタウンミーティング
		①2月18日(水) 18時30分～20時 中野区役所1階ナカノバ
		②2月23日(月・祝) 10時30分～12時 中野区役所6階会議室
	2月中旬	インターネット意見募集
	3月	再整備事業計画見直しの方向性、再整備に向けたプロセス等の報告
	8月頃	再整備事業計画 改定素案 策定
	12月頃	再整備事業計画 改定案 策定、パブリック・コメントの実施
2027年	2月	再整備事業計画の改定

②中野サンプラザパフォーマンスフィールドの整備 (新規)

510万1千円 【P18】

2025年10月から中野サンプラザ南側広場で開設した中野サンプラザパフォーマンスフィールドの設備を整備し、文化・芸術活動を行う個人や団体の利用を促すことで、賑わいを生み出します。

▼整備する設備

- ・ダンス練習用の常設鏡
- ・貸出用蓄電池、簡易照明
- ・イベントや休憩のために使用するイス、テーブル

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(1)

教材費や修学旅行費の費用の補助 (新規)

4億4,444万6千円【P22】

学齢期の子どもが質の高い教育を受け、充実した学校生活をおくり、保護者は安心してその成長を見守ることができるよう、教材費や修学旅行費など区立学校の教育に関する費用の補助を実施します。

▼対象者

区立小中学校に在籍する**全児童・生徒**

▼対象費用

原則、現在学校が保護者から徴収している費用すべて

例)修学旅行費、校外学習費、移動教室費

教材費(ドリル・理科実験材料・家庭科実習教材・図画工作キット等)



また、これまで教職員等大人が決めていた区立小学校の移動教室先での体験活動、区立中学校での校外学習先や修学旅行先、卒業遠足先を、今後は児童・生徒自ら考えることができるようにします。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(2)

子どもの居場所づくり

①朝の子どもの居場所づくり (新規)

5,504万4千円【P23】

保護者の働き方の多様化や共働き家庭の増加により、学校始業前や長期休業中の朝の子どもの居場所に対するニーズが高まっています。子どもが安全・安心に過ごせる朝の子どもの居場所をつくることで、保護者の就業と子育ての両立を支援します。

▼早朝見守り事業

- 実施期間 児童の登校日（土・日曜日、祝日、夏休みなどの長期休業期間を除く）
- 実施時間 7時30分～登校時間
- 対象児童 小学校1～3年生（区立小学校2校は全校児童を対象）

▼区立学童クラブの預かり時間の延長

- 実施期間 授業がない土曜日、学校休業日（夏休みなどの長期休業期間）
- 実施時間 7時30分～8時
- 対象児童 区立学童クラブに利用登録している児童

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(3)

②教育センター分室を活用した中高生年代の居場所づくり (新規)

5,719万1千円【P22】

子ども相談室移転後の教育センター分室の一部を活用し、保健所移転に伴う教育センター分室の解体までの期間、中高生年代が自由に過ごし、様々な交流や活動、体験ができる居場所事業を実施します。

③桃園第二小学校代替校舎を活用した放課後居場所づくり (拡充)

574万8千円【P26】

児童館が実施している学校・地域連携事業を拡充し、桃園第二小学校代替校舎において、放課後に児童が帰宅せずに利用できる居場所・遊び場を設置します。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(4)

④放課後等の子どもの居場所の拡充（推進）

9億2,284万7千円【P27】

（仮称）キッズ・プラザ中野本郷の開設準備を行うとともに（仮称）キッズ・プラザ上鷺宮の整備を進めます。また、東京都認証学童クラブ事業の認証を取得した民間学童クラブに対して人件費等を補助します。

⑤子どもの意見を反映した児童館の環境整備（推進）

360万円【P27】

子どもたちのニーズを踏まえた児童館運営を行うため、子どもの意見を反映した物品の購入やイベントを実施します。

▼対象 18館（1館あたり20万円）

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(5)

生活に困難を抱える子育て世帯への支援

①長期休業中における食品の配付 (新規) 796万9千円【P22】

生活に困難を抱える子育て世帯への食の支援として、学校給食のない長期休業中において食品を配付します。2026年度は試行実施として、夏季休業期間に定員を設定し実施します。

▼対象要件

区内在住の小学1年生～中学3年生の児童・生徒がおり、以下のいずれかに該当する世帯

①住民税非課税世帯

②児童扶養手当を受給する世帯

③実質ひとり親家庭への子育て支援給付金を受給する世帯

▼配付内容 米、乾麺、インスタント食品、レトルト食品、缶詰、飲料、お菓子など

▼配付数量 約30食分（世帯の児童・生徒数により数量の加算あり）

▼配付時期 長期休業前に対象世帯へ通知し、申請を受けて一括で自宅に配送

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(6)

②学習支援事業の対象学年を高校生年代まで拡大（拡充）

1億3,070万3千円【P23】

生活に困難を抱える世帯の児童、生徒への支援として、小学4年生から中学3年生までを対象に実施している学習支援事業について、対象学年を高校生年代まで拡大します。

▼対象学年

小学4年生～中学生 + 高校生年代

▼高校生年代の対象と事業概要

対象：就学援助費受給基準所得額に相当する所得の世帯、児童扶養手当受給世帯、
実質ひとり親家庭への子育て支援給付受給世帯、住民税非課税世帯

概要：週1回または2回、1回2時間、3か所で実施（定員100名）

このほか、高校3年生を対象に夏期特別指導（6回）を実施

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(7)

給付型奨学金により若者のチャレンジを支援 (新規) 270万3千円 【P23】

経済的理由により高等教育への進学又は修学が困難でも、学びの意欲のある若者へ奨学資金を給付することにより、若者のチャレンジを支援します（2026年度募集、2027年度給付開始）。

▼対象

大学・短期大学、高等専門学校（4・5年生）、専門学校への進学予定者・在学生のうち、

①居住場所の要件、②年齢要件、③学業成績等の基準、④収入基準について満たす方

※上記要件を満たす応募者のうち、④に基づく給付額算定基準額が低い方から優先して採用

▼給付内容 入学金及び授業料など

▼募集 1学年80人程度

▼今後のスケジュール（2027年度進学予定者向け）（予定）

2026年度 7月以降 奨学生の募集

12月頃 応募者への内示

2027年度 4月以降 奨学金の交付決定

6月以降 前期分支給

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(8)

いじめ対策

①いじめ防止動画による啓発 (新規) 577万5千円 【P22】

小学校低学年向けのいじめ防止対策アニメを制作し、いじめを理解し、友達とよりよい関係を築こうとする態度を養うことで、いじめの未然防止を図ります。 【23区初】

②SNS相談事業の拡充 (拡充) 429万円 【P24】

利用対象者を小学校5・6年生に拡充するとともに、いじめを許容しない集団の雰囲気を醸成するための授業も併せて対象学年に実施し、いじめの早期発見と抑止力を生み出します。

▼SNS相談の利用対象者

中学校全学年 + 小学校5・6年生

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(9)

産婦健康診査・1か月児健康診査 (新規)

2,571万4千円【P29】

出産後間もない時期の産婦・乳幼児に対し、新たに健康診査を実施することにより、疾病及び異常を早期に発見すると共に、産後うつ予防等を図り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備します。

5歳児健康診査の試行実施 (新規)

93万1千円【P29】

言語の理解能力や社会性が高まる時期に、子どもの特性を早期に発見し、適切な支援を行うことを目的として、5歳児健康診査を試行的に実施します。

電子母子健康手帳アプリの導入 (拡充)

2,021万8千円【P30】

電子母子健康手帳のアプリを導入するとともに、各種講座予約の利便性向上及び産後ケア事業等のクーポンの電子化に向けた検討・構築を進めます。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(10)

子ども相談室の移転 (新規)

62万7千円【P22】

子どもの権利を守るため、つらいことや困っていることを抱える子どもが相談でき、解決に向けた支援をする「子ども相談室」を、安定的な運営の維持及び相談者の利便性の向上のため、区役所へ移転します。

(仮称) 国連を支える世界こども未来会議 i n NAKANO (新規)

220万円【P22】

子どもがさまざまな場面で多様な意見を表明できるよう、ワークショップを通じて子ども自身が自分の住むまちの未来について考え、発表するチャレンジの機会を創出します。

若者実態調査 (新規)

957万円【P23】

「若者が幅広い交流や様々な活動の機会を通じて、チャレンジしながら成長するとともに、課題の解決に向けて支える体制が整っているまち」の実現を目指して、若者施策への活用を目的に、若者実態調査を実施します。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(11)

中野区乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）（拡充）

2億4,149万3千円【P25】

保護者の就労の有無にかかわらず、保育所や幼稚園等において、未就園児を対象とした定期的かつ継続的な預かり保育を行います。

（区民が区内施設を利用する場合）

▼対象児童 生後6か月～2歳児クラス相当（幼稚園は2歳児クラス相当のみ対象）

▼利用時間 月10時間以上

区立幼稚園の建替整備（推進）

2,978万5千円【P26】

かみさぎ幼稚園の建替整備に向けた基本設計・実施設計、ひがしなかの幼稚園の建替整備に向けた用地測量を実施します。



◀かみさぎ幼稚園



◀ひがしなかの幼稚園

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(12)

学校部活動の地域クラブ活動への移行（拡充）

5,851万6千円【P24】

休日の部活動の運営主体を学校から地域クラブ活動に移行します。あわせて、地域クラブ活動の指導者を確保するために民間事業者へ業務委託するとともに、一部の教員の兼業も認めます。

平日 運営主体 ▶ 学校 指導者 ▶ 教員・部活動指導員・外部指導員

休日 運営主体 ▶ 委託事業者 指導者 ▶ 地域クラブ活動指導員

任意の3部活動

- ▶ 原則、運動部を3つ選択する
- ▶ 文化部も可。ただし、その場合の指導者は兼業の教員のみ
- ▶ 男女混合の部活動を1部活動とすることも可

指導員の配置

- ▶ 各校6名配置 → 1部活動につき2名
- ▶ 配置パターン
 - ① 委託事業者 6名
 - ② 兼業の教員 6名
 - ③ 委託事業者 + 兼業の教員 6名

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(13)

英語によるコミュニケーション能力の向上（拡充）

1億3,149万5千円【P24】

英語の授業を質量ともに充実させ、ALTを活用した指導体制の拡充を図るなど、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。

▼ALT配置日数の増加（区立中学校年間延べ配置日数）

2024年度 847日→ 2026年度 1,818日

→2026年度は、**区立中学校全校でALTを全日配置します**

▼AI英語学習アプリの試行導入

区立中学校全校にアプリを導入し、生徒が一人一台タブレットを活用することで英語を「読む」「書く」技能の習熟を図ります。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(14)

日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実（拡充）

5,059万5千円【P24】

帰国・外国人児童生徒等の母語・母文化を含む多様な背景を尊重しつつ、学校への円滑な適応を図り、社会で生きていくために必要な日本語の能力や学力等を育ていく体制を整備します。

▼日本語指導サポートデスクの設置（区立小学校1校）

学校のガイダンスや児童生徒のアセスメント等を行う専門人材を配置

▼日本語学級の設置（区立小学校3校、区立中学校1校）

日本語指導アシスタントを配置

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(15)

妊娠・出産・子育てトータルケア事業の充実（拡充）

1億7,148万9千円【P30】

妊娠から出産、子育てまでの個々のニーズに応じた切れ目ない支援を行うため、家事育児支援事業について、妊娠中の方も対象とするとともに、利用上限時間を拡充します。また、多胎児家庭の産後ケア事業の利用上限回数を増やすなど、産後ケア事業の充実を図ります。

▼家事育児支援事業の拡充

対象：1歳未満のお子さんを育てている世帯 + 妊娠中の方

利用上限時間：20時間 → 40時間

3歳未満の兄弟がいる世帯

60時間 → 80時間

▼産後ケア事業の充実

①デイケアにおける4か月児以上の受入れ実施区内施設への加算の創設

②多胎児の利用回数上限の増

21回 → 26回（単胎児は15回）



2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(16)

医療的ケア児・重症心身障害児(者)等とその家族等に対する支援

①区立保育園における医療的ケア児受入体制の整備(拡充)

1,879万6千円【P25】

区立保育園において、医療的ケアが必要な子どもの受け入れ可能な園を増やすため、施設改修を行います。

▼改修対象 弥生保育園(区内4園目)

▼受入開始 2027年度

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(17)

②医療的ケア児相談支援体制等整備事業 (新規) 491万7千円【P33】

医療的ケア児とその家族への相談支援体制を強化するため、総合的な支援体制を整備します。

- ・医療的ケア児等専門相談窓口の設置、SNS相談の開設
- ・必要な情報をまとめた家庭向けガイドブックの作成
- ・外部講師による支援関係者への助言（スーパーバイズ）の実施

③重症心身障害児（者）等在宅レスパイト・就労等支援事業の拡充（拡充） 1,131万8千円【P34】

年間利用上限の引き上げや、実施場所の拡充を行い、重症心身障害児（者）又は医療的ケア児の健康の保持と、介護する家族等の負担軽減及び就労の支援を促進します。

▼年間利用上限時間 144時間→288時間

▼訪問看護報酬単価（1時間あたり） 7,500円→8,500円 ※利用は2時間から

▼実施場所 自宅+学校等での実施

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(1)

熱中症・猛暑対策

2億1,851万円【P47】

地球温暖化に伴う気候変動の影響等により、身体や生命に危険を及ぼすような猛暑が続いています。区民の生命と健康を守るため、熱中症・猛暑対策を進めます。

▼内容

- ・災害対策用備蓄物資の購入（避難所環境改善）
- ・学校施設プールサイド改修工事
- ・健幸プラザ等 猛暑避難所（涼み処）に係る経費
- ・区民活動センター クーリングシェルターに係る経費
- ・北部、南部すこやか福祉センター空調設備整備工事
- ・職員貸与用被服（空調作業服）の購入
- ・ケースワーカー用熱中症対策消耗品
- ・多機能舗装（透水性舗装＋湿潤舗装）の実証試験工事
- ・防災訓練用ミネラルウォーター、スポットクーラーの購入
- ・エアコン購入費助成事業
- ・野球場・庭球場暑熱対策経費
- ・熱中症予防啓発物品の購入
- ・清掃事業における熱中症対策
- ・公園における暑熱対策
- ・各投票所への補水対策飲料等の配備



3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(2)

エアコン購入費の助成 (新規)

1,000万円【P33】

経済的な理由により自宅にエアコンを設置していない等の生活保護世帯に対し、エアコンの購入及び設置費用を助成することで、生活環境の改善、夏季における熱中症の健康被害の予防を図ります。

【再掲】コミュニティポイントを活用した健診受診・事業参加への勧奨 (新規)

588万円7千円【P33】

コミュニティポイントを活用し、区民健診や保健事業など、健康づくりの取り組みへの参加を促し、健康状態の把握、疾病の早期発見・早期治療、禁煙を促進します。

(仮)中野区受動喫煙防止対策条例施行に基づく様々な対策事業 (拡充)

8,615万円【P34】

受動喫煙の防止に関する意識の啓発、分煙環境の整備等の受動喫煙防止対策により、受動喫煙による健康への悪影響を未然に防止し、区民の健康増進を図ります。

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(3)

訪問系障害福祉サービス事業所に対する補助 (新規) 894万4千円【P33】

東京都の補助事業「訪問系障害福祉サービス事業所人材確保対策支援事業」を活用し、区内訪問系障害福祉サービス事業所(以下、事業所)に対し、以下の補助を実施します。

▼事業所が新規採用した職員(無資格者)が、資格取得前の有期雇用期間中に介護業務の支援を行う場合、人件費を補助する

▼事業所が新規採用した職員(無資格者)に対して負担する資格取得費用を補助する

手話を使ったイベント・事業の実施 (新規) 154万3千円【P33】

「中野区手話言語条例」及び「中野区障害者の多様な意思疎通の促進に関する条例」に基づき、手話が言語であることに対する理解を促進するため、手話言語理解促進事業を実施します。

▼事業の内容(予定)

- ・手話を使った脱出ゲームの開催
- ・手話言語の国際デー等に合わせた本庁舎ライトアップ
- ・手話をテーマとした映画上映、映画出演者によるトークショー など

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(4)

ケアプランデータ連携システム導入に関する支援 (新規) 1,468万3千円【P29】

介護現場の負担を軽減するため、居宅介護支援事業所等と居宅サービス事業所等との間でケアプランに関する情報をデータで送受信する「ケアプランデータ連携システム」の導入を支援します。

アピアランスケア支援事業の拡充 (拡充) 3,773万4千円【P30】

がんの治療等に伴う外見（アピアランス）の変化に悩みを抱えている患者に対し行っていた、ウィッグやエピテーゼ（補整用人工物）等の購入やレンタル等にかかる費用の助成について、対象者や対象品目を拡充します。

▼現在

【対象者】がん治療に伴う外見変化により地域生活に支障がある者

【対象品目】ウィッグ、帽子、人工乳房、胸部補整具

【助成上限額】3万円

※点数制限あり(1回1点)。2回まで申請可。

拡充



▼2026年4月1日以降

【対象者】**がんに限らず**、疾病の治療及び外傷に伴う外見変化により地域生活に支障がある者

【対象品目】ウィッグ、帽子、人工乳房、胸部補整具、**エピテーゼ(補整用人工物、義眼等)**

【助成上限額】**10万円**

※点数制限**なし**。2回まで申請可。

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(5)

健幸プラザへのリニューアル（拡充） 7,428万8千円【P30】

高齢者会館を健幸プラザにリニューアルし、利用環境の変化と利用者の拡大に対応するため、各施設の対応人員の確保等を行います。

なかの長寿ふれあい食堂推進事業補助（新規） 330万円【P29】

高齢者の孤食の解消や心身の健康増進、多世代交流を目的とした会食を定期的に行う住民主体の団体に対し、事業補助を行います。

北部すこやか福祉センターの整備（新規） 1,289万7千円【P29】

※別途、移転用地取得（用地特別会計 4億631万6千円）計上

北部すこやか福祉センターの移転整備に向けて、基本計画の策定等を行います。

地域包括支援センター新設に向けた準備（新規） 1,996万3千円【P29】

区内9か所目となる地域包括支援センターの2027年度開設に向け、相談支援業務の移行や窓口整備などの準備作業を行います。

▼開設場所 温暖化対策推進オフィス跡施設5階（中野5-4-7）

区民の命と財産を守るために

①避難所の環境改善（拡充）

1億5,882万4千円【P15】

▼避難生活の環境改善

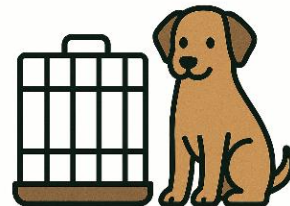
- ・ 衛生環境を改善するため、新たにエアーベッドを配備
- ・ 熱中症対策用品（長期保存できるゼリー、冷感タオル、瞬間冷却パック等）の導入

▼要配慮者の避難対策

- ・ 避難所停電時の要配慮者の熱中症対策として、スポットクーラー・冷風機・ミスト扇風機などを配備

▼ペットの避難対策

- ・ 避難所でのペット受入に関する環境改善（ゲージ、フード、トイレ等）



4 安全・安心で住み続けたいとなる持続可能なまちへの取り組み(2)

②帰宅困難者対策（拡充）

1,426万1千円【P15】

▼一時滞在施設の確保

▼外国人への情報提供

翻訳機や多言語対応スピーカーを配備し、複数の言語で案内できるようにする。

▼物資や資機材の配備

帰宅困難者の一時滞在施設(区内10か所)や、情報提供ステーション(区内14か所)に必要な物資や資機材を配備する。

③【再掲】集合住宅(アパート・マンション等)における防災啓発（拡充）

253万4千円【P15】

集合住宅防災訓練実施者にコミュニティポイントを付与します。あわせて、参加者に集合住宅の防災マニュアルを配布します。

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(3)

歩きたくなるまちづくりの推進（拡充）

1,598万2千円【P41】

歩きたくなるまちづくりを推進するための整備方針を検討するとともに、中野区役所周辺をモデル地区とした社会実験等の実施や公有地におけるベンチの設置を促進します。

目的

誰もが自然と歩きたくなる、快適で魅力的なまちの実現により、まちの魅力や安全性の向上、区民の外出機会増加による新たな活力の創出や健康増進等、様々な施策へ効果を波及させる。

目指すまちの姿

- ①多様な人々が集い、つながる、賑わいのあふれるまち
- ②ユニバーサルデザインとバリアフリーが進んだ、人中心のまち
- ③中野らしいまち並みや景観に愛着の感じられる、居心地の良いまち



▼今後の取組

- ・ウォーカブルな環境整備に関する基本方針の検討
- ・中野区役所周辺における社会実験の実施

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(4)

リチウムイオン電池の適正排出・再資源化の推進 (新規) 2,022万1千円【P38】

リチウムイオン電池等の安全な排出のため、新たに集積所回収を行い資源化を図ります。また、資源とごみの分け方・出し方等に関する区民への周知を徹底します。



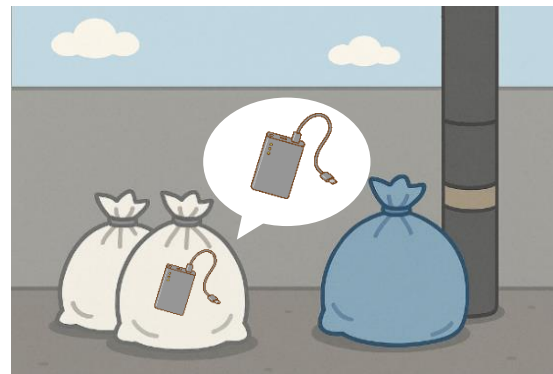
▼現状

- ・リチウムイオン電池単体については、区が、区役所・リサイクル展示室での拠点回収を実施。区以外では、J B R C（メーカーなどがリサイクル活動する共同団体）の加盟店で回収を実施。
- ・リチウムイオン電池内蔵製品については、陶器・ガラス・金属ごみの日に、袋を分けて排出するルールになっている。

⇒2026年度から、リチウムイオン電池単体も陶器・ガラス・金属ごみの日に、袋を分けることで排出が可能になる。

▼今後の予定

2026年 4月 ごみ集積所での回収開始
「資源とごみの分け方・出し方」の作成
8月～「資源とごみの分け方・出し方」の全戸配布



4 安全・安心で住み続けたいとなる持続可能なまちへの取り組み(5)

(仮称)なかの気候区民会議の実施 (新規)

857万4千円 【P38】

地球温暖化の原因を「自分ごと」として認識し、行動につなげる「(仮称)なかの気候区民会議」を、ワークショップ形式の学習会として実施します。

(仮称)環境行動ポイントの導入 (新規)

27万6千円 【P38】

区民が脱炭素やごみ減量につながる行動を実践した際に、デジタル地域通貨「ナカペイ」を活用して「(仮称)環境行動ポイント」を付与します。

区有施設への太陽光発電設備導入調査の実施 (新規)

618万2千円 【P38】

区有施設の省エネルギー化を図るため、既存施設への太陽光発電設備の導入が可能かどうか調査します。

中野区空家等対策基本計画改定 (新規)

534万1千円 【P41】

空家等の現状・課題の整理及び空家実態調査結果の分析を行い、2026～2027年度に現計画の改定に向けた検討を行います。

そろの木公園休養施設改修工事 (新規)

1,696万8千円 【P41】

そろの木公園に設置している四阿(あずまや)は、経年劣化により柱が腐食しているため、パーゴラへの改修工事を行います。

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(6)

④防災まちづくり（推進）

12億4,400万2千円【P45】

地震時における地域危険度が高い地域や木造住宅密集地域等において、地域の市街地状況に合わせた防災まちづくりを推進します。

▼防災まちづくり計画

- ・若宮地区の防災まちづくり

▼弥生町防災まちづくりの推進

- ・避難道路の整備
- ・防災街区整備事業の推進

▼木造住宅密集地域の整備

（南台地区、平和の森公園周辺地区、都市防災不燃化促進事業）

▼上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくりの推進

▼大和町まちづくり

- ・地区計画の検討
- ・優先整備路線の拡幅整備
- ・不燃化特区制度を活用した建物の不燃化促進（東京都と調整中）

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(7)

西武新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差事業に伴う鉄道上部空間活用（推進）

997万8千円【P44】

西武新宿線（中井駅～野方駅間）の連続立体交差化により創出される鉄道上部空間の活用について、地域住民の意見を聴取しながら、区としての鉄道上部空間活用基本方針の検討を進めます。

東中野駅東口周辺のまちづくり（推進）

5,866万9千円【P44】

東中野駅東口周辺のまちの将来像を示す「まちづくり基本方針」の策定と、地域の課題となっている駅舎等のバリアフリー化実現に向けた調査を行います。

野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺のまちづくり（推進） 2億4,403万9千円【P44】

西武新宿線（野方駅～井荻駅間）の連続立体交差事業を契機とした野方以西のまちづくりを具体化していきます。また、野方第1号踏切を含む全踏切が除却されるよう、東京都などの関係機関と協議・調整を進めます。

新井薬師前駅・沼袋駅周辺のまちづくり（推進）

32億2,284万3千円【P45】

新井薬師前駅・沼袋駅周辺地区で、交通環境の改善、にぎわいと魅力あふれるまちづくりや防災性の向上に向けた取り組みを進めます。

5 区政運営に関する取り組み

コンタクトセンターの整備と区ホームページへの生成A I 検索エンジンの導入 (新規)

1億2,256万2千円 【P15】

コンタクトセンターの整備および区ホームページへの生成A I 検索エンジンを導入することで、区への問い合わせにかかる区民の利便性を向上します。

▼コンタクトセンターの整備

- ・ 区役所本庁舎の代表電話を平日夜間や日曜にも受け付け、手続きなどに関する簡易な問い合わせに、オペレーターがワンストップで回答
- ・ 応対結果を活用した、区ホームページに掲載する情報の充実

▼区ホームページへの生成A I 検索エンジンの導入

- ・ 行政用語などによらず、話し言葉や手続きの概要で検索できる
- ・ A I が検索結果を要約して回答することで、利用者が必要な情報を簡単に入手できる



障害支援区分判定等審査会の効率化 (新規)

429万4千円 【P33】

障害支援区分判定等審査会のオンライン実施により、ペーパーレス化の推進、審査会委員の負担軽減および内部事務の効率化を行います。

特別区区民葬儀補助金 (新規)

949万円【P33】

区民生活に不可欠な火葬場を安心して利用できるよう、区民葬儀利用者のうち、指定の民間火葬場を利用した区民へ2万7千円を補助し、経済的な負担を軽減します。

AEDの屋外設置 (拡充)

1,356万2千円【P35】

AEDを区有施設等の屋内から屋外に設置し、夜間・休日を問わず、24時間365日誰でもAEDを使用できる環境を整備します。

▼屋外設置する施設

児童館、高齢者会館（健幸プラザ）、公衆浴場

6 その他の取り組み(2)

学校跡地に係る活用検討（旧鷺宮小学校・平和の森小学校）（新規）

3,102万円【P13】

複合施設の整備に向けて、学校跡地2か所を有効活用するための検討を行います。

中野区区有施設保全計画の策定（新規）

1,727万円【P15】

区有施設を適切に保全していくため、中野区区有施設保全計画を策定します。

中野駅桃園広場及び南北通路の維持管理（新規）

755万4千円【P41】

2026年12月完成予定の中野駅桃園広場および南北通路の維持管理を行います。

中部スポーツ・コミュニティプラザバスケットゴール交換工事（新規）

1,024万円【P34】